

「クリーンアップ作戦」で、地域をきれいに!

道路・河川清掃活動〈大島支部〉

平成十三年八月六日、大島郡では建設業関係の皆さんによる大規模な「クリーンアップ作戦」が行われました。全国的には十日の「道の日」に行われることが多い清掃活動ですが、大島郡ではちょうどその頃から帰省のピーク年間で大島大橋が一番混み合う季節となります。

大島郡土木協会が主催するこの活動に、山口県建設業協会大島支部の四十四企業と久賀町建設技術研究会の十八企業から合わせて六十名の皆さんが参加して、国道四三七号と県道四号線（大島環状線）と久賀港に流れ込む二河川の清掃活動を行いました。



拾ったゴミの分別

それぞれ手に持ったビニール袋に空き缶やゴミを集めていました。一方、道路組はトラックで国道沿いを移動しながら、ゴミを集めていきました。

「毎年必ず参加していますが、今日は特に暑いですよ。午前中にもやってくるから今日の道路はゴミが少ないけど、週末は海水浴客や釣り客が空き缶やゴミを放りっぱなしにするので気をつけてほしいですね」と参加者の一人。



川の中での作業

こうして集めたゴミを、各町ごとに指定の場所に運び分別処理します。参加者の皆さん、猛暑のなか本当にお疲れさまでした。

道の日・美化運動〈柳井支部〉

柳井地域では、平成十三年八月十日に道の日行事として道路環境美化活動が行われました。

手作業での伍ひろい



柳井地域行政連絡協議会を実施主体に、約七十名での作業となりました。建設業協会からは、十八名がボランティアで参加し、主要県道柳井周東線のうち、柳北小学校から黒杭

川ダムの間を清掃されました。朝九時から一斉にそれぞれの持ち場へ移動すると、道に捨てられている空き缶やゴミを一つ一つ拾って歩かれています。あいにく、前夜に雨が降ったため、当日は、地面から上がる蒸し暑さに汗を流しながらの作業でしたが、ゴミ袋もきちんと燃えるゴミとそれ以外のものに分けて集められました。



スギモト建設(株) 杉本 康彦さん

杉本康彦さんに作業中お話を聞くと、「春に一度清掃していて、その時かなりゴミをとっていたこともあって、今回は、意外とゴミが少なかったですね。

今回の参加は、柳井支部五十社のうち、十八名が参加してもらっていますが、地区コミュニティでは、個々でも必ず参加しますよ。小さなものを含めれば、年に五回以上は、参加しています。

私自身も小さな親切運動などのボランティアにも参加します。日頃の業務は、道路工事ですが、こういった活動に参加することで、地域の人々とのコミュニケーションを図ることも大事だと思っています。

県道沿いで車の通行量も多い



「まず」と話されていました。参加者はいつもと違う汗を流しながら作業を続けた後、清々しい笑顔でゴミをまとめていました。

マグニチュード6の地震が

2001年総合防災訓練in萩

「平成十三年八月三十日午前九時、萩市直下を震源とするマグニチュード6の地震が発生し、萩市で震度5強、周辺市町村で震度5弱を記録した。

このため萩市を中心とした地域で電気・ガス・水道・電話等のライフラインに大きな被害が生じた上、建物等の倒壊及び焼失、崖崩れ、道路・橋梁の損壊等の被害も重なり、主要道路が通行不能となっている。

さらに大型で非常に強い台風十八号が山口県に接近しており、豪雨が続ぎ、土砂災害や高潮、高波など



災害時に起こる火災に備えて

この訓練は、萩市河添河川敷公園で行われ、約六十機関と地元住民の方々が参加しました。また、当日は、想定状況に合わせたように激しい雨天の中の訓練となりました。

午前九時から始まった訓練、第一ステージは、情報収集に出た車両からの状況報告がされ、被害状況確認のため、ヘリコプターで災害対策本部長が被災地に到着します。そして非常通信訓練や上空・地上偵察・避難誘導など、警察や自衛隊をはじめとする様々な団体が日頃されている訓練の成果を披露してくれました。

第一ステージに続き、午前十時より第二ステージの防災関係機関等による応急対策活動の訓練へと変わりました。この第二ステージでは、山口県建設業協会も参加、



バックホーの運転手 中村さん

バックホーにより、障害物を取り除く



緊急道路啓開として、道路上の障害物を除去し、緊急車両の通行を確保するという訓練を披露しました。

バックホーを使用し、障害物をスムーズに取り除くという訓練です。現場で乗り慣れている機材を使っている作業は、日頃から解体作業も行っているため、その経験を十分活かした作業といえます。

これまでも萩支部では、土砂

車からの救出作業



の撤去なども実際に災害の中で体験しているため、災害時における持てる力を全て活かすこと、できるだけ早い復旧活動を展開することが大事だということをよく理解しています。

災害はできれば起こってほしくないもの。それでも、もしものために……。

参加した全ての人は、皆真剣な眼差しで訓練に臨み、災害時さながらの雨天の中、無事に訓練を終えました。